

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 佐川急便株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 601-8104 京都府京都市南区上鳥羽角田町68番地	
本票作成	部署名：岡山営業所 安全推進課				
主たる業種	分類コード	44	業種名：道路貨物運送業		
事業の概要	事業用貨物自動車による貨物の運送				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	佐川急便株式会社 岡山営業所		岡山市南区郡3006番地	
	②	佐川急便株式会社 倉敷営業所		倉敷市曾原416-1	
	③	佐川急便株式会社 津山営業所		津山市高野本郷1830-2	
	④	佐川急便株式会社 倉敷西営業所		浅口市鴨方町地頭上字長谷55	
	⑤	佐川急便株式会社 山陽営業所		赤磐市沼田1091-1	
⑥	佐川急便株式会社 高梁営業所		高梁市落合町阿部字河原田2360-1		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input checked="" type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 6 所 ●車両台数 (②該当の場合) 333 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 25 年度)	(平成 27)年度排出量	目標年度(平成 27 年度)
	3,568 t CO ₂	4,713 t CO ₂	3,514 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 27)年度排出量
	①	佐川急便株式会社 岡山営業所	1,850 t CO ₂
	②	佐川急便株式会社 倉敷営業所	1,192 t CO ₂
	③	佐川急便株式会社 津山営業所	712 t CO ₂
	④	佐川急便株式会社 倉敷西営業所	445 t CO ₂
	⑤	佐川急便株式会社 山陽営業所	362 t CO ₂
⑥	佐川急便株式会社 高梁営業所	152 t CO ₂	

削減目標の達成状況	計画期間：平成 26 年度 ～ 平成 27 年度 (2 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(27)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 7.1 %	1.5 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 県内の集荷個数	原単位当たり排出量		
		基準年度	(27)年度	目標年度
		0.295 kg CO ₂ /(個数)	0.316 kgCO ₂ /(個数)	0.291 kgCO ₂ /(個数)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 27 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

貨物取扱量が増加してきた事により、コース数を増やし車両台数が平成25年度は299台だったものに対し平成27年度に於いては333台と増加しました。また、貨物取り扱いの内訳において集荷個数が増加した事に加え、配達業務に於いて個人宅への配達にネット通販業界の伸びも影響し、激増しており、効率が非常に悪くなったことは間違いないと考えます。今一度、集配ルートの集約化や効率化を進めると共に保有車両の削減及び車両入替で新車を導入する等、燃料に於いての二酸化炭素の総排出量は削減に努めます。

【推進体制】

各営業所の安全推進課が取組状況を共有、また中国エリアの安全推進責任者が進捗を取り纏め適宜、指示を出し、目標達成に向けて様々な対策及び推進活動を行いました。定期的に目標に対する進捗状況を確認し、取組内容の見直し等を行って参りましたが思うように削減には至りませんでした。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
県内6営業所	<p>(平成27年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『エコ安全ドライブ7か条』に基づき、エコドライブを実施。 ○全車両にキーチェーンを装備し、アイドリングストップを実施 ○ドライブレコーダー搭載を促進、エコドライブの個別指導を実施。 ○ドライブレコーダーに搭載推進。 ○季節により事務所内の温度管理を実施(夏:28℃ 冬:20度) <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○27年度実施分を継続して実施する。 ○事業所毎に年間の燃料削減目標を定め、適宜進捗確認を行う。 ○事業所全体の取組に加え、車両毎の個別管理を行う。 ○現場指導の強化実施、添乗指導にてアクセルワークの指導を行う。 ○ドライブレコーダーに搭載されている機能の一つで『ふんわりアクセル度判定にて』全車両80%以上を目指す。 ○各営業所に必ず設置されているベルコンローラーについて、稼働時間を出来る限り削減する。また、こまめに電源を落とす。 ○営業所に設置されているクール貨物保管設備について開け閉めの回数を削減し節電に努める。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--